

## 公式ロゴデザイナー。



山都町の魅力が、「山から蝶（町）が羽ばたくように」、というイメージを図案化したシンボルマークです。

3つのイメージカラーで自然の豊かさと未来への希望を表現しており、橋（アーチ）で、地域と地域、人と人とを結び、手と手をたずさえ、町民が協力し合って、未来へのまちづくりをすすめることを表現しているシンボルマークです。



ロゴマークを使用した展開デザイン。

## 山都ブランドの確立を一。

本町のアイデンティティ（山都町のよりどころ、自信になるところ）を一冊の本にまとめたL1ブック（ローカルアイデンティティ＝暮らし方の指針）のロゴマークとロゴマークを用いた情報発信ツールとなるコンテンツを作成しました。今後は行政の印刷物をはじめ、農産物などの商品やサービスに活用し山都町の知名度、イメージアップに繋げ「山都ブランド」の確立に向け、取り組んでいきます。



暮らし方の指針を一冊にまとめたL1（ローカルアイデンティティ）ブック

## これから一。

今後は、通潤橋や清和文楽、神楽、蘇陽峡など自然、民俗文化、農産物をはじめとした様々な山都町の資源を「山都ブランド」として発信していきます。

公式のロゴマークの使用にあたっては「山都町ロゴマーク使用規則」を定めていますが、使用許可申請書を提出していただく必要があります。具体的な手続きについては、山都町ホームページをご覧くださいませようお願いします。また、申請書の様式はホームページよりダウンロードができます。

問い合わせ先：山の都創造課 72-1158

## ～山の都の豊かで魅力ある、自然や民俗文化、農産物を統一ブランドとして発信～

### これまで一。

平成17年2月に矢部町、清和村、蘇陽町が合併して、山都町が誕生しました。

「潤い・文楽・そよ風でつづる山都町」を合言葉に、矢部・清和・蘇陽の融和と其々の地域の特徴を活かした、町づくりに取り組んできました。



### 合併10年を経過した今一。

対外的な山都町の認知度は低く、本町の産業振興や移住・定住を進めていくうえで、地域ブランドの確立は早急に取り組まなければならない、重要な課題です。

そこで、町民自らの生き方や地域での暮らし方を今一度見つめ直し、互いを尊重し地域での暮らし方を照らす新しいガイドラインの検討を行い、山都町の魅力を伝達するツールとしてロゴマークや山都町のローカルアイデンティティ（暮らし方の指針）をまとめたL1ブックの作成、販促物の製作を行いました。

### 役場の若手職員を中心に一。

未来の山都町を作り上げていく若い世代が使いたい、使い続けたいと思うロゴマークやキャッチコピーを作成することで、半永久的に受け継がれていきます。そこで、役場の若手職員のスキルアップを兼ねて、昨年の5月から4回のワークショップを重ね、山都町の魅力の再発見と新たな町のPRや情報発信にどう取り組んでいくかをテーマに議論し、作り上げました。

